

安全・取り扱いに関するご注意 必ず、お読みください

今回は当店のV-UP16（オプションを含む）、MSAをお買い上げ頂きありがとうございます

製品を安全にご使用頂くには、正しい方法による取り付け、結線が必要です。

本書、並びに本製品を取り付ける車両の取扱説明書に示されている、安全に関する注意事項を良くお読みになり、十分に理解された上でご使用ください。

本書では、本製品を誤った方法で取付や使用した時に、人や物へ損害を与えることが想定される場合や、本製品を正しくご使用頂く上で重要な事項を、下記の表記を用いて説明しています。

△警告	取り扱いを誤った場合、生命への危機、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
△注意	取り扱いを誤った場合、本製品だけでなく、障害を負う危険性や 車両や設備の破損・故障につながる恐れがある内容を示して

△警告

- 取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理してください。自動車、原動機付自転車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。
- エンジンを始動する時は、屋外または窓を開け、換気扇などを回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業してください。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。
- エンジン停止直後は、絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後は、エンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があり危険です。また、本体も発熱しますので冷えてから作業をして下さい。
- 本製品は車両電源がDC12V専用車体（ボディー）アース車用です。DC24V車には使用出来ません。故障、火災の原因になります
- 本製品は非常に高温になるエンジン、排気管、マフラー付近や 水が直接かかる場所には取り付けないでください。なお、誤配線にも十分注意してください 感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因になります
- 本製品および配線類は確実に固定し、結線は 圧着端子やカプラー、半田付けなどで確実な結線をしてください 本体の脱落、接触不良や断線が発生すると走行中、エンジンが停止して危険です。
- 本製品の取り付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損や感電の原因となります。 使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。また、回転部分や可動部分に接触しないようにしてください。
- 本製品の取り付け、配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、感電に注意し慎重に作業をしてください。
- 本製品に異音、異臭、発煙や作動不良などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または当店までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、車体、エンジン、電装部品の破損の原因となります。
- 本製品の加工、分解、改造などは一切行わないでください。火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工、分解、改造等の形跡が見られる場合、クレーム、修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、当店では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

△注意

- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- 安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外してください 外さずに作業をするとショートする恐れがあります なお、バッテリーのマイナス端子を外す前に、車両取扱説明書またはデーター等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響が有る場合があります
- 装着車両に、本製品以外に本製品同様のシステムを搭載した製品との併用を行った場合には、本製品の故障や車両の不具合が発生する可能性がございます。 この場合、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 取り付け作業のために一時的に取り外す部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- 事故防止の為、各コネクター、ボルト、ナットの緩みが無いか運行前点検時と合わせて点検して下さい。取り付け部やコネクター等にガタがある場合は速やかに増し締め等を行って下さい。
- 本製品を車両に不具合があるための修理目的に使用しないでください 整備された正常に運転できる車両用です

昇圧回路V-UP16 バイク用結線図 TCI(フルトラ)専用 Ver 2.07

V-UP16の基本配線です
赤色(+12V/へ力)
橙色(+16V/出力)
黒色(アース)

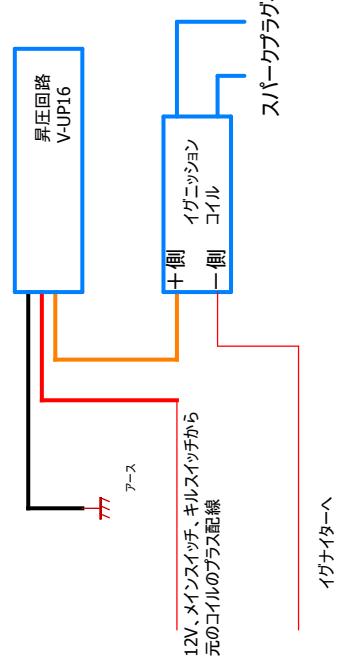
イグニッションコイルの+側の配線を抜き 根元のプラス配線をV-UP16の赤色に接続してください
V-UP16のオレンジ色(出力)をイグニッションコイルの+側へ接続してください
V-UP16の黒色(アース)はバッテリーのマイナス、もしくはシャーシへ確実にアースしてください

CDI点火装置には対応しておりません
ウォタニ製品の単気筒、2気筒は不適合です

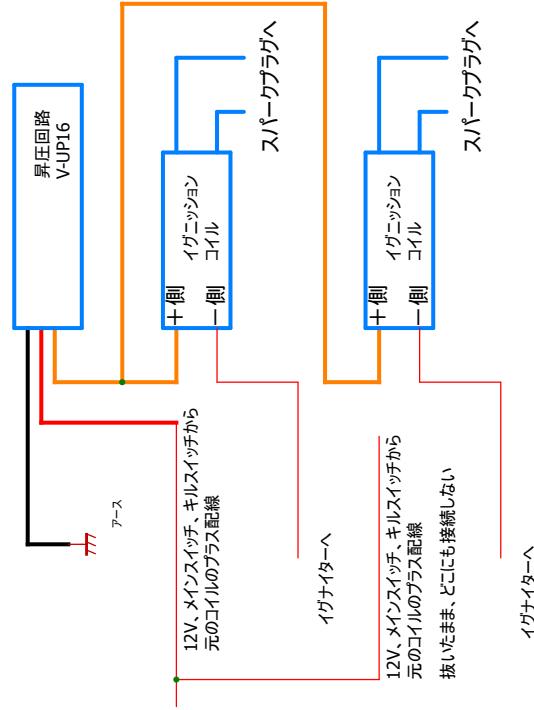
イグニッションコイルの+側がわからない場合は 下記の方法で確認してください

イグニッションコイルに接続されているコードをすべて抜いてください
(1箇所でもイグニッションコイルにコードが接続されているとすべて同じ電位になります)
その状態でメインキーをON、キルスイッチをRUN(ON)の状態にしてエンジンが始動できる状態にします
デスターの電圧計測レンジで、先ほど抜いた1コイルあたり2本の配線の電圧を計測します
どちらかにバッテリー電圧(+12V)が来ています。これが+側となります
すべてのコイルをこの方法で検査してください
イグナイターの種類によっては、一側に+10V以下の電圧が来ている場合があります
この場合は2本の配線のうち電圧が高い方が+側となります

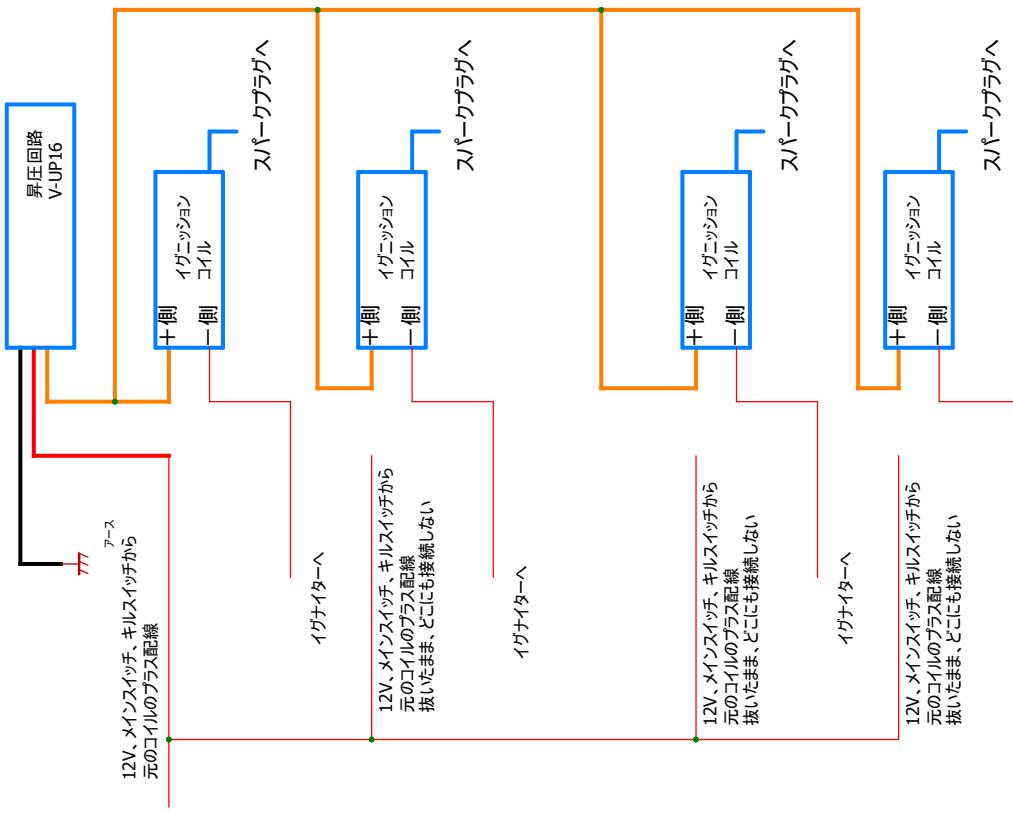
イグニッションコイルが 1個の場合



イグニッションコイルが 2個の場合



イグニッションコイルが 4個の場合



全体の注意事項

今までコイルに接続されていた
使用しない+側の配線は
ショートしないように テープ等で
絶縁処理をしてください
イグニッションコイルですが
結線図では 1コイル2本プラグで
書いてあります
1コイル1本プラグでも同じです
あくまで コイルの個数を基本として
結線してください、

V-UP16の装着方向は
内部への水の侵入防止のため
配線を上向きに取り付けないでください
セファー1100などのツインプラグ仕様
(コイルが4個)の車両は
V-UP16が2個必要になります

〒491-0917
愛知県一宮市昭和2-16-13
ワイエスティー
TEL 080-7844-3245
Mail info@ysd-e.jp